

視覚障害ある高橋さんが快挙 詩吟全国大会で優勝

～作者の気持ちを吟ずる伸びのある声が評価～



広報9月号で詩吟の全国大会進出を紹介した北吉原の高橋美幸さん(31)。第29回全国優秀吟者吟道大会(9月18日、川口市)和歌の部で見事優勝に輝き、指導に当たる上河都都子さん(北海道道南岳風会白老支部支部長)、母の智子さんともども喜びに包まれています。「(名前を呼ばれて)最初はびっくりしましたが、少したってから実感が湧いてきました」とステージのそでで涙をぬぐいました。

先天的な全盲という困難がありながらの快挙。大舞台では不安で緊張しっぱなしでしたが、上河さんとのけいこや働きながら時間をみつけての自宅特訓で培った成果をぶつけました。「詩を大切に作者の気持ちになって」(高橋さん)吟じたのは平安時代の歌人曾禰好忠の和歌。澄んだ伸びのある声を会場に響かせました。

大塩英男町長にも優勝を報告。町長は「町民の皆さんも心からおめでとうと思っています。文化のまちとしての活性化につながってほしい。周囲の支えがあることを忘れないでこれからも活躍していただきたい」と祝福の言葉を贈りました。高橋さんは「仲間ができて、今が一番楽しい」と笑顔で応じていました。



“大学生”が元気に日ごろの成果をアピール!
第37回町高齢者大学学園祭
(10月3日、白老コミセン講堂・ロビー)



行きます、聞きます 提案します

商工会ふっとわーく

9月24日、6年ぶりとなる「ちびっこフェスティバル」を白老経済センターで開催しました。射的、くじ、型抜きなど子ども縁日や仮装コンテスト、ドローン操縦体験などを行いました。

仮装コンテストは反響が良く、募集から1週間ほどで定員30人が埋まりました。思い思いの仮装をした子どもたちが、入賞を目指してアピールし、審査員の皆さんも発想力に感心しながら審査をしていました。

盛況だったちびっこフェス

子どもたちが楽しみ、親子が触れあうとてもいい機会を提供できたかと思います。また、町内飲食店の方たちの出店協力で、イベントを盛り上げていただきました。



(白老町商工会 しらおい経済センター内 ☎82-2775)